

「新しいNHK」をご紹介します

放送総局長
正籬 聡

2022年度はNHKがテレビ本放送を開始してから70年。テレビは家庭に広く普及し、生活の一部となりました。私たちは、番組やニュースをご覧いただけるよう、試行錯誤しながら歩んできました。

一方、最近では家族構成や生活様式が多様になり、テレビの見られ方が変化しているとともに、幅広い世代でインターネットの利用時間が増え、これまでの伝え方の延長では、私たちのコンテンツを届けることが難しくなっているのではないかと考えています。

そこで、あらためて視聴者のニーズやNHKへの期待度などを分析し、限られた予算のもと、メリハリをつけた資源配分やジャンル内での選択と集中を行う本格的なジャンル管理を導入しました。報道や教育といった公共メディアならではのサービスを強化するとともに、視聴者のみなさまの多様な興味に応えていくコンテンツ発信を続けていきます。

土曜の夜間に大型ニュース番組がスタート！

～命と暮らしを守る報道番組の強化～

週末夜に、新しい大型ニュース番組「サタデーウオッチ9」をスタートします。土曜夜間の大型ニュース番組は初めてです。重要なニュースをわかりやすく深く掘り下げるとともに、週末のゆったりした時間帯を意識した、明日への希望が感じられる話題をお届けします。

そして、新しく生まれ変わった「クローズアップ現代」がゴールデンタイムに進出。視聴者のみなさまに「きょうひとつ、大切なことを知ることができた」と実感いただけるよう、蓄積してきた取材力と全国・全世界のネットワークで確かな情報をお届けします。ご期待ください。

人生 100 年時代 教育コンテンツも変わる！

～子どもから大人まで、学びの機会をひろげます～

共働き世帯の増加を受け、保育園児の帰宅時間にあわせて「おかあさんといっしょ」「みいつけた！」を、午後 4 時台から午後 6 時台に移設。また、「おかあさんといっしょ」をはじめとする子ども向け番組については、地域での公開収録を増やし、視聴者のみなさまとの接点も強化していきます。

そして、平日夜間帯は、人生を豊かにしてくれる「大人のためのライフ・教養ゾーン」として強化。月 1 回火曜午後 10 時台に新設する「NHKアカデミア」は、第一線で活躍する大学教授やクリエイターが語る新しい講座番組で、オンラインを活用したデジタルとの連携を強化します。

午後 10 時 45 分から “夜の連ドラ” を放送！

～若い世代を意識したゾーンを新設～

若い世代の多様な関心に応えるため、「若年層向けゾーン」を設定。その核となるのが夜の連続ドラマ「夜ドラ」。放送時間は朝ドラと同じ 15 分。NHKならではのシリーズドラマで、続きが気になるストーリーを旬な出演者と届けます。毎日ご覧いただく楽しみ方、NHKプラスでイッキ見していただく楽しみ方など、ライフスタイルにあわせてご覧ください。「おはよう」は朝ドラ、「おやすみ」は夜ドラで。

あの人気番組が日曜 午後 6 時台に進出！

～NHKならではのファミリー向けコンテンツ～

幅広い年代のみなさまに届くよう工夫を凝らした、ご家族で楽しめる番組も数多く誕生します。これまで報道番組を放送してきた日曜夕方枠は、装いを一新して「香川照之の昆虫すごいZ！」と「超ギョギョッとサカナ★スター」などのファミリー向け番組を放送します。

全国ネットワークを生かし、地域を全力応援！

～視聴者とのふれあいを大切に～

全国に 54 の放送局を持つNHKの最大の強み。それはネットワークを生かした情報発信です。「ロコだけが知っている」は放送時間を拡大。また、土曜の昼には、各地の工場や工房から匠の技、そして、笑いと人情と人間模様をお届けする「探検ファクトリー」(大阪拠点放送局制作)を新設。週末には「地域応援キャンペーン」を展開(年数回)して、各地の魅力を全国に発信します。

デジタルの展開については、4月からすべての拠点放送局の午後6時台のニュース・情報番組をNHKプラスの見逃しサービスで配信。そして地域のみなさまにNHKを身近に感じていただくために、200を超える公開番組が全国の市町村にお邪魔します。

新年度の総合テレビ・Eテレをあわせた地上波の改定率は、2003年の地上デジタル放送開始以降で最大の42%に上ります。

数字ではありません。視聴者のみなさま一人ひとりの関心に応えられるよう、多彩なコンテンツを放送・デジタル・イベントのさまざまな手段を通じてお届けします。

4月からの新たなNHKの放送・サービスにご期待ください！